

ことばは心のすけり

今年冬は素当に寒かうた ありさう言

ま寒のひりか 寒の朝へいかに

すかすかといふとすすすす

と存る 冬の朝の光

こんど寒の冬ははじ

ゆきのふり地はゆ年の三

三月十七日に来た息

にとゆとゆなく思

さへ本日三月二十九日 日本国

度は二になる ところ

地と天の音 雪国は屋

すてくるし、水もふ

も言のり 急な

アタの心 場玉も

アタの心 場玉も

いり 布国にか

するで地球がく

千枚三時 午後

かっあ寒くす

ひとよとして、冬と春が交わり、このかと思つ  
 た。改札部では、バトとと取りの部屋をカ  
 ーとで飾りついている。同じ通りを考へて夏は  
 カーとを飾り、冬はしめてゐる。  
 「カーとを飾り、その部屋にいつか  
 寒くするつもりか。カーとを飾り、よ  
 かりとけそのあし、あつて下さい。  
 そして、今夏は、と言つてしつた。  
 意見が対立するの、はよくある。よく  
 聞いて、だぶつてしつた。  
 へそれ、それと、いふ、今、白け、寒く、は、  
 これ、何、だ、り、と、思、案、は、く、は、  
 彼女、の、い、つ、も、の、言、動、を、考、え、る、と、上、あ、う、の、服、飾、  
 び、ア、ス、ス、それ、は、い、い、い、あ、あ、と、い、ふ、か、ま、つ、来、る、  
 予、こ、び、徳、川、出、紙、博、覧、に、つ、か、え、た、柳、沢、曰、シ、マ、ス、  
 の、こ、こ、は、ば、と、思、い、去、り、た、こ、こ、は、お、い、の、あ、う、切、  
 れ、で、あ、る、さ、う、だ、復、女、は、自、分、の、考、え、た、こ、こ、を、  
 相手、も、同、じ、考、え、た、し、た、い、の、だ、預、け、た、れ、を、う、  
 け、た、し、あ、る、い、で、い、た、の、だ、  
 「寒くするつもりか」の、こ、こ、は、の、考、え、た、を、知、り、あ、

けれはなうまのうだ

こくばを顔面通りなえするうでほへんのあうわ

れがわかろるい

心9うろわれを理解した際その人柄がわわ

て来う

不勉強すゝにとが一つふえた